

通じており完全舗装されている。この国道はヤバカニ河を渡りコチャパンバ市に通じる計画で現在工事は進行中である。

移住地内道路は全ラッテに通じている、サンタ・クルース市より移住地センター（地区内12Km地点）まで1日4往復のバスの便がある。

サンタ・クルース市が最も近い市場であり、この他にコチャパンバ市、ラ・パス市が産米の主な販売市場となっている。

将来は、ヤバカニ河を渡り国第3の都市コチャパンバ市に通じる最短道路が完成すると一段と市場が拡充される。

幹線は砂利道、支線は盛土で、雨天時の車輻による通行は困難である。

幹線の電化工事完了（1980年）支線も逐時工事中220V

3～10m（平均7m）の深さで水を得ることが可能であり、自家掘り井戸で賄っている。一部の家庭では打込井戸を使用しているが、昭和55年より3年計画で各戸に80m程度の深井戸掘作中である。

サンファン診療所
日本人医師が駐在し、レントゲン装置、手術設備も備っている。

学校等
小学校 1 中学校 1 寄宿舎 1
公民館（助成）
警察屯所 2（12Km地点及び26Km地点）
組合クラブ、組合事務所、共同販売所
ガソリン・スタンド、体育館

自治会・農協等
搾油兼飼料工場、組合事務所、日米協会事務所
昭和48年7月事業開始、9月より本格作業に入り、現在日産950tの封筒を組合員に供給し、月産30tの大豆油を生産している。付属施設として2300t貯蔵可能なサイロを持つ

入植戸数と人員の推移	年 度	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44
	戸 数	17		46	88	1	5	111	18	19		1		3	6	3
	人 員	88		252	438	1	31	626	98	80		6		7	6	10
	年 度	45	46	47	48	49	50	52	53	54	現 地 名 入 植 者	合 計		定 着 数		
戸 数	1		1	3	1	3	1	3	2							
人 員	1		1	3	1	3	1	6	4							

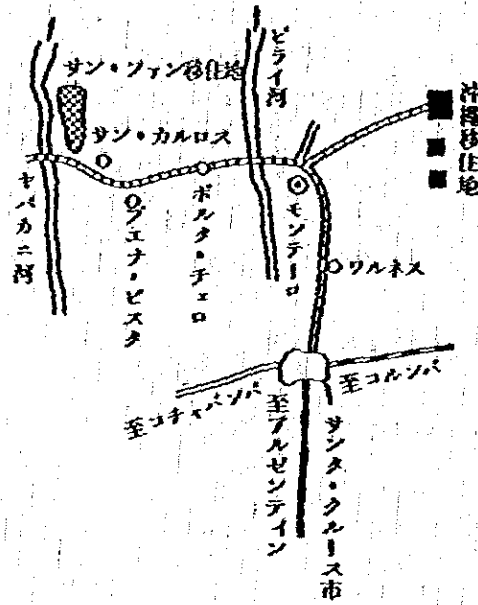
入 植 者 数			人 植 世 帯 数		農 家 戸 数		昭和56年4月1日現在		
			戸 数	人 数	戸 数	人 数			
	日 本 人	居 住	230	1,185	176	1,012			
非 居 住		0	0	0	0				
	計	230	1,185	176	1,012				
ポ リ グ ィ ア 人	居 住	300	1,500	-	-				

内 訳	主なる出身県名	長 崎	福 岡	北 海 道	高 知	東 京	熊 本	その他	合 計
		戸 数	107	24	16	10	8	7	42

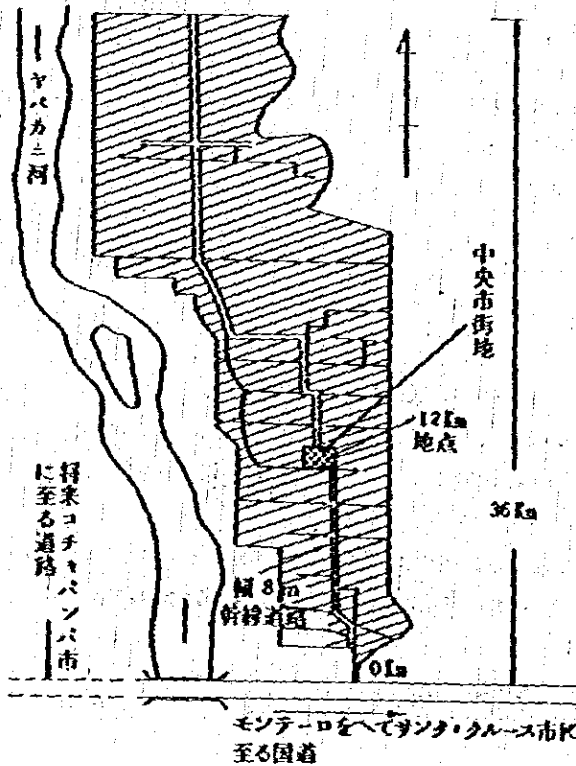
分 譲 状 況	総 面 積	昭和53年9月末現在								
	ロッテ面積	27,13254 ha								
	分譲条件および契約	50 ha								
	分譲面積	無償, 現在は時価により売買されている。								
	分譲状況	0								
	分譲済面積	未分譲面積	道路市街地等利用地	除 地						
	26,775 ha	0	325 ha	3254 ha						
地 権 所 有	全地権取得済									
	昭和55年12月末現在									

農 業	主 作 目 形 態	養鶏, 陸稲, 大豆 養鶏または雑作(陸稲, 大豆)の単一経営が多い。また, これらの部門の複合経営が見られる。
	農機具普及状況 (一戸平均)	トラクター 0.8台, コンバイン 0.3台, トラック 0.4台
	家畜飼養頭数 ()	肉牛 9.9頭 豚 1.8頭
	営農指導機関 営農指導	事業団サン・ファン試験農場が担当し, 主に基幹作物の試験を実施しつつ指導を行っている。また必要に応じ, 事業団のヌエバ・エスペランサ畜産試験農場の協力があるほか, 臨時, モンテロー市近郊にあるボリビアのサベトラ試験場の協力を受けることができる。
	金融機関	事業団, BANCO AGRICOLA DE BOLIVIA, BANCO DE BRASIL, BANCO DE LA NACIONAL ARGENTINA, BANCO DE SANTA CRUS 等
主作物販売取扱	サンファン農牧総合協同組合	

地区略図



移住地略図



(2) オキナワ移住地(第1, 第2, 第3)

所在地	<p>オキナワ第1 サンタ・クルース郡ウルネス郡ロス・チャゴス村 CANTON LOS CHACOS, PROVINCIA WARNES, DEPARTAMENTO SANTA CRUZ</p> <p>オキナワ第2 サンタ・クルース郡ウルネス郡ヌエバ・エスペランサ村 CANTON NUEVA ESPERANZA, PROVINCIA WARNES DEPARTAMENTO SANTA CRUZ</p> <p>オキナワ第3 サンタ・クルース郡ウルネス郡モンテ・クリスト村 CANTON MONTE CRISTO, PROVINCIA WARNES, DEPARTAMENTO SANTA CRUZ</p>
面積	<p>オキナワ第1 21,800 ha</p> <p>オキナワ第2 16,744 ha</p> <p>オキナワ第3 8,333 ha 総面積 46,877 ha</p>
経緯	<p>オキナワ第1 昭和28年、ボリヴィア国リベラルタ市の沖縄出身の在留邦人は、「古今未嘗有の大戦争の犠牲地になった沖縄の同胞を援護することは人道上の必然的義務である」という趣旨のもとに沖縄県人のボリヴィア移住促進計画が開始され、「うるま農産組合」を結成して、本国政府に働きかけ、昭和27年サンタ・クルース県に国有地の払下げを受け、移住地を創設したのが「うるま植民地」である。琉球政府より調査員を派遣、本国政府と交渉し移住地の調査を実施した結果、移住開始が決定した。この「うるま植民地」には、昭和29年8月第一陣 278名、同年9月第二陣 127名が入植したが、間もなく病名不明の熱病が流行し犠牲者も出たため、地区の移転を計画し、本国政府と折衝し、昭和30年同県のパラメティーリャへ全員移転した。しかし移って見たもののことで付近地主の反対、定着条件に欠けること等があり、三転して昭和30年現在地に移転を開始翌年9月移転を完了した。</p> <p>さらに、第2の移住地候補地について本国政府に交渉し、その結果南方22kmのワボモエというところに移住地を得た。前の移住地をオキナワ第1移住地といい、これをオキナワ第2移住地とした。そして昭和36年12月には、オキナワ第2移住地の南方16kmから始まる地点にさらにオキナワ第3移住地を得た。</p> <p>この間、沖縄からの移住者は引続き行われたが転住者も多く出ている。</p> <p>昭和34年1月、琉球政府の「ボリヴィア移住地駐在事務所」が開設され、また昭和38年6月「琉球海外移住公社ボリヴィア出張所」が開設された。</p> <p>この移住地は、従来琉球政府が経営主体となり指導、援護を行っていたが、昭和42年7月沖縄県の祖国復帰にさきがけて事業団に移管し今日に至っている。</p> <p>当初の営農は陸稻が中心であったが、最近では肉牛飼育熱が高まっているほか、棉花栽培、養鶏さらに大豆、とうもろし等の雑作栽培が盛んになっている。</p>

経緯	オキナワ第2	昭和34年、ボ国移民受入委員の活躍により沖縄からの移住者受入地として、ボ国政府より土地の払い下げを受けた移住地である。入植は昭和34年第1移住地からの転住者を第1陣として、今日まで181世帯が入植したが現在は73世帯が定着している。
	オキナワ第3	オキナワ第2移住地に引続いて、昭和35年にボ国政府より払い下げを受けた移住地である。入植は昭和37年から始まり、今日までに131世帯が入植した現在は45世帯となっている。
自然環境	地形	アマゾン河の一源流リオ・グランデ川の沖積丘陵の平坦な地形で、移住地の南西より北に向かって1/400~1/1500の傾斜を持っている。移住地内には、リオ・パイロン河他小河川があるが、雨期のみ流水し、乾期は枯渇している。
	地質・土壌	リオ・グランデ川沖積層土壌、植土、植壌土、礫砂壌土、砂質、砂壌土、酸性~弱酸性土壌
	植生・林相	オキナワ第1 北帯は、樹高10~15mのアホー、サバイモーン、ブランキリョ、モタクー、オチョオ、南帯は、クーチ、クルバウなどの闊葉樹に大別される。長水地帯の再生林では、二次的にサウキが密生している。 オキナワ第2 一般にブランキリョ、サバイモーン、コモモン、パロサント、カリカリが多く樹高10~15mであるが、低湿地帯では矮性化しており樹高5~10mと低い。草はクラバター(野性パイナップル)ウンギーリョ(ガマの木)が多い。 一般地には、森林帯に多肉植物、再生林にイネ科植物が多く植生している。
	気候	オキナワ第3 クルバウ、タビーゴ、モラーウ、クーチ、クモー、イチトリキ、ワヤカン、ブランキリョが多く樹高10~15m。低湿地または湿地には草性ガラバター、フロンリョが目立つ。 雨期10月~3月 乾期4月~9月 年平均気温24.2℃前後であり、過去の最高月平均気温は32.7℃、最低月平均気温は15.2℃で、(11月)雨期は高温多湿、乾期は比較的気候は低い。降雨量は500~1100mmと年による変動が大きい。年間平均すると1000mm程度であるが、降雨の時季は10月~3月に集中、乾期の(4月~10月)の降雨量は月間40~90mm程度
社会環境	サンタ・クルス市からの交通手段	サンタ・クルス市より北方の第1移住地まで約96kmで完全舗装の国道が通じている。バス便は頻繁にあり、所要時間は約2時間、第2移住地へはモノニータ経由で62km、盛土通路および砂利舗装で所要時間1時間半、第1移住地経由で116kmである。第3移住地へはモノニータ経由で44kmでバス便があるが、雨期の通行は困難である。
	市場	サンタ・クルス市、ラ・パス市が主な市場で、このほかにもモンテロー市が近い市場としてある。輸出貨物の輸はサンタ・クルス市で取引されている。
	移住地内道路整備状況	移住地内の幹線は砂利舗装、支線は盛土道である。

電 気	幹線の電化工事は完了し、現在支線の工事中である。
飲 水	事業団及びAID（米国）の援助で深井戸を各戸設置している。100m以上掘削すれば自噴するところもある。
公 共 施 設	
事業団保護	コロニア沖繩第1小中学校、ヌエバ・エスベランサ小中学校 教師宿舎（第1、第3） 公民館（第1）助成 医師宿舎（第1及び第2） 移住者宿泊所、ヌエバ・エスベランサ試験農場、第1診療所
自治会・組合等	小中学校（第1） 診療所、製材所、裁縫工場（第2）

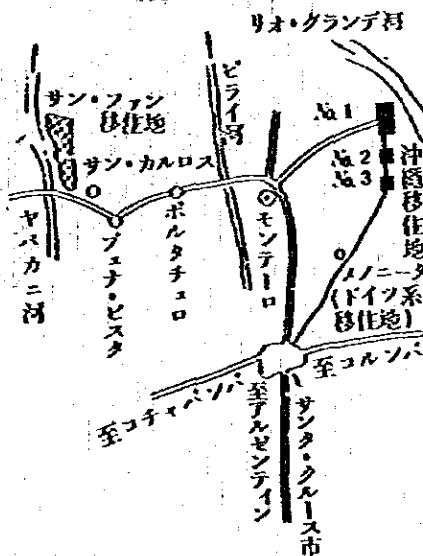
人 植 戸 数 と 地 人 員	年 度	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
	戸 数	153	39		44	91	81	59	72	81	36	23				11	6	1
	人 員	405	122		214	437	453	309	482	509	198	102				26	34	5
	年 度	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	現 入 植 増 者	合 計	定 着 数				
	戸 数		4		1		3	4	4	2	0			716	214			
	人 員		19		1		15	7	19	9	1	6		3,373	1,250			
(注) オキナワ移住地 第1、第2、第3合計													昭和56年3月末現在					

入 植 戸 数	日 本 人	居 住	昭和1	98	566	84	496
			昭和2	69	396	67	396
			昭和3	31	214	27	197
		非 居 住	昭和1	6	34	5	27
			昭和2	6	24	3	11
			昭和3	4	16	0	0
	計			214	1,250	186	1,127
	ポ リ ウ イ ア 人	居 住	昭和1	131	786		
			昭和2	3	19		
			昭和3	0	0		
計			134	205			

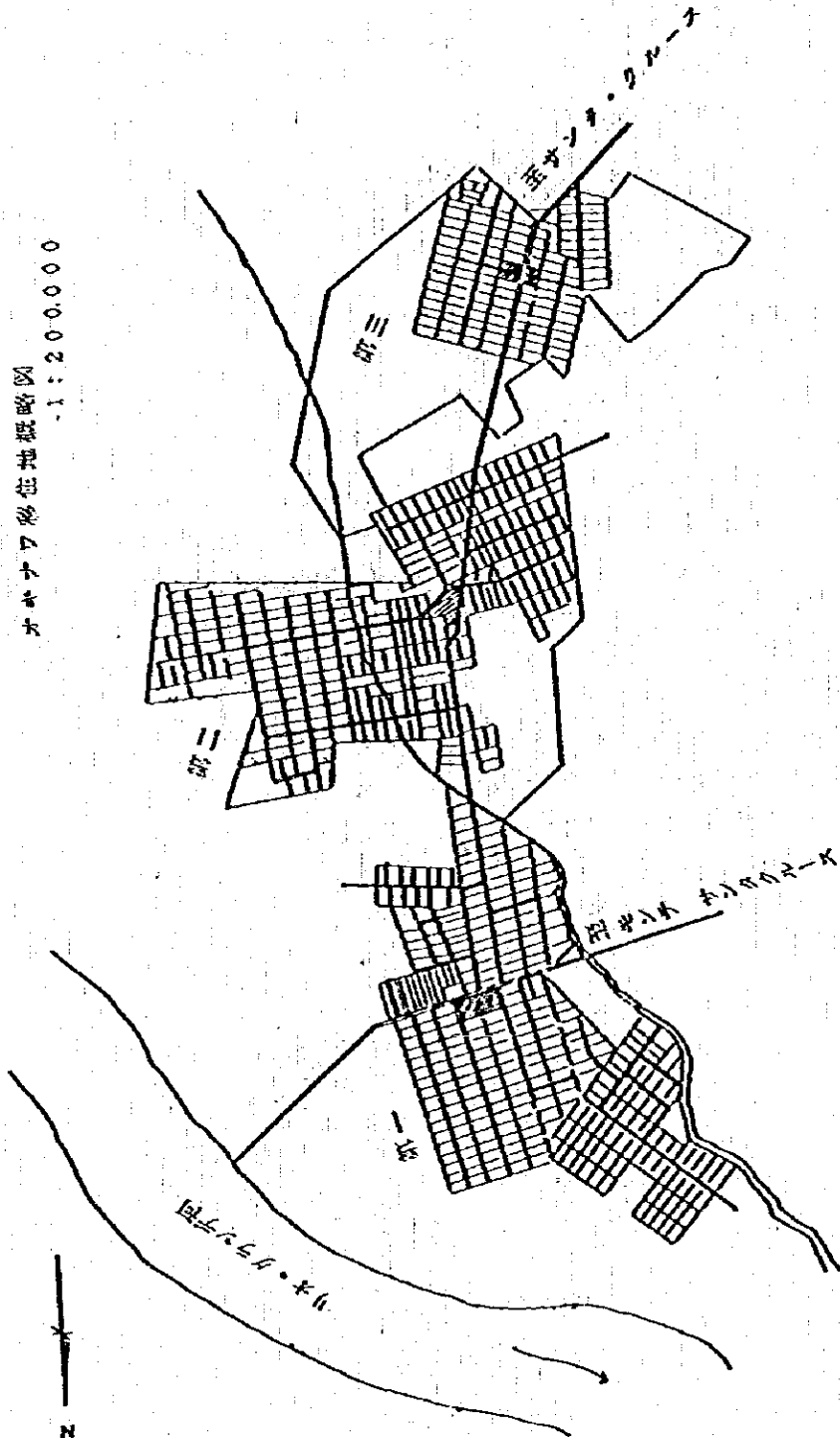
昭和56年3月末現在

分 譲 状 況	総面積	第1 21,800 ha 第2 16,744 ha 第3 38,333 ha			
	ロッテ面積	50 ha			
	分譲条件及び価格	無償 現在は時価で売買されている。			
	分譲可能価積	第1 0, 第2 0, 第3 --			
分 譲 状 況		分譲済面積	未分譲面積	道路市街地等利用地	除 地
	No1	21,600	0	200	0
	No2	16,171	0	573	0
	No3	8,129	--	204	--
	計	44,673	--	977	--
地 権 取 得 第1移住地全戸地権取得済					
昭和56年12月末現在					
農 業	主 作 目 態	ワタ、ダイズ、トウモロコシ、小麦、養鶏、肉牛 養鶏の単一経営農家が最も多く、ついで牧畜、雑作の単一経営が多い。またこれら部門との複合経営が見られる。ワタ農家は近年の多雨により急激に減少した。			
	農機具普及状況	トラクター 0.6台、トラック 0.2台、オートバイ 1.0台			
	家畜飼養頭数	肉牛 51頭、ブタ 19頭			
	営農指導機関	事業団スエバ・エスベランサ畜産試験農場が担当し、主に基幹作物の試験及び指導も行っている。また必要に応じてモンテローロ市近郊にあるボ国領のサーベドラ試験場並びに当国サン・ファン試験農場から協力を受けている。			
	金融機関	サン・ファンと同じ			
主作目販売取扱	コロニア沖繩農牧総合組合 (CAICO)				

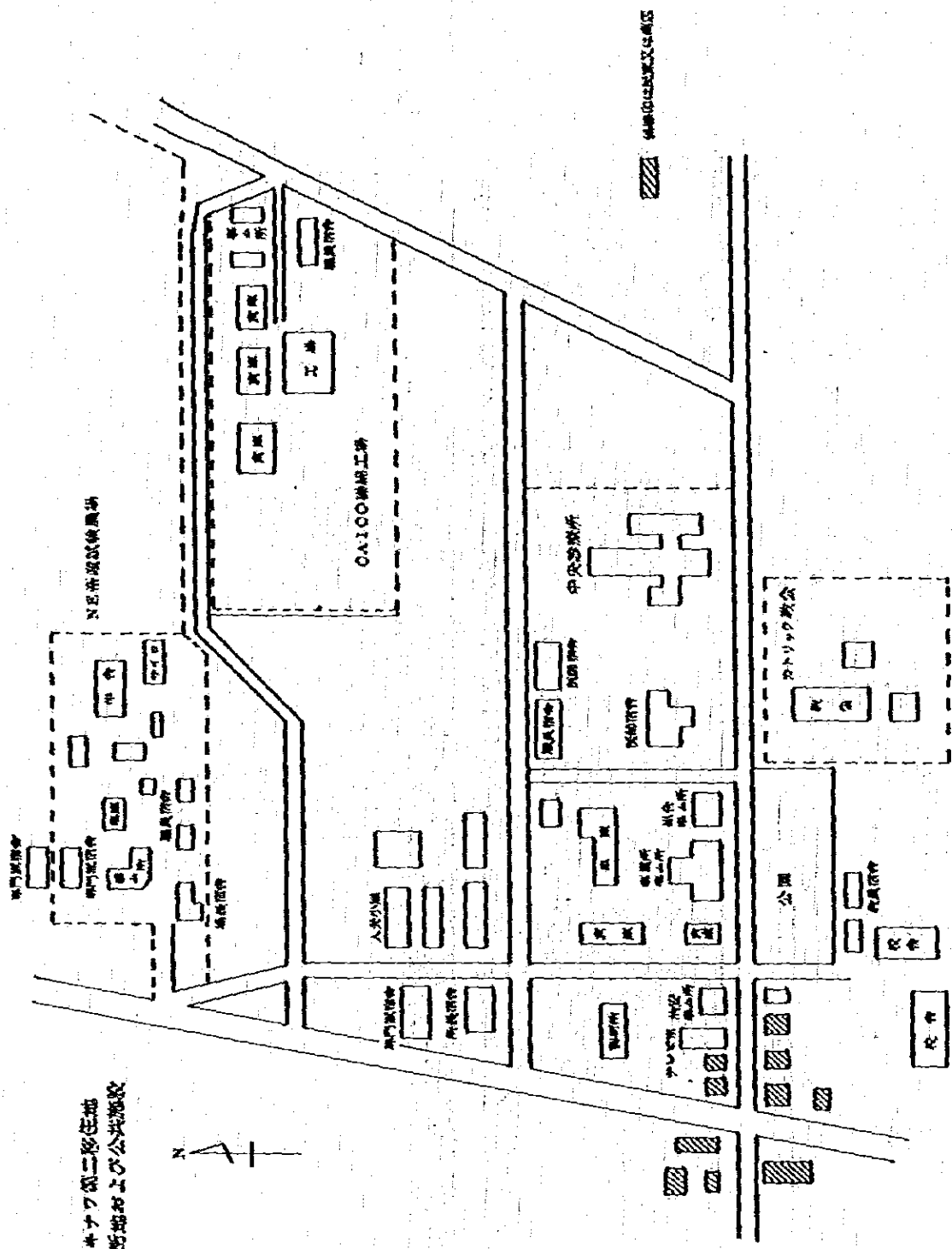
地区略図



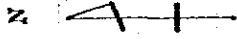
オホナアワ移住地概略図
1:200,000



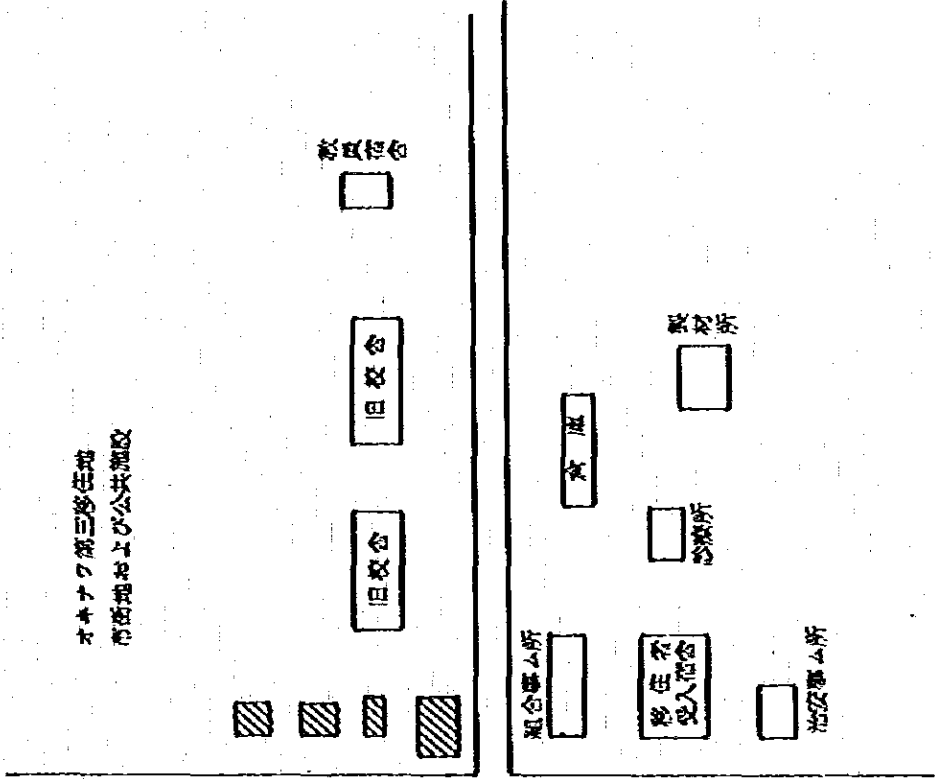
本町二丁目住宅地
 信託地及び公営施設

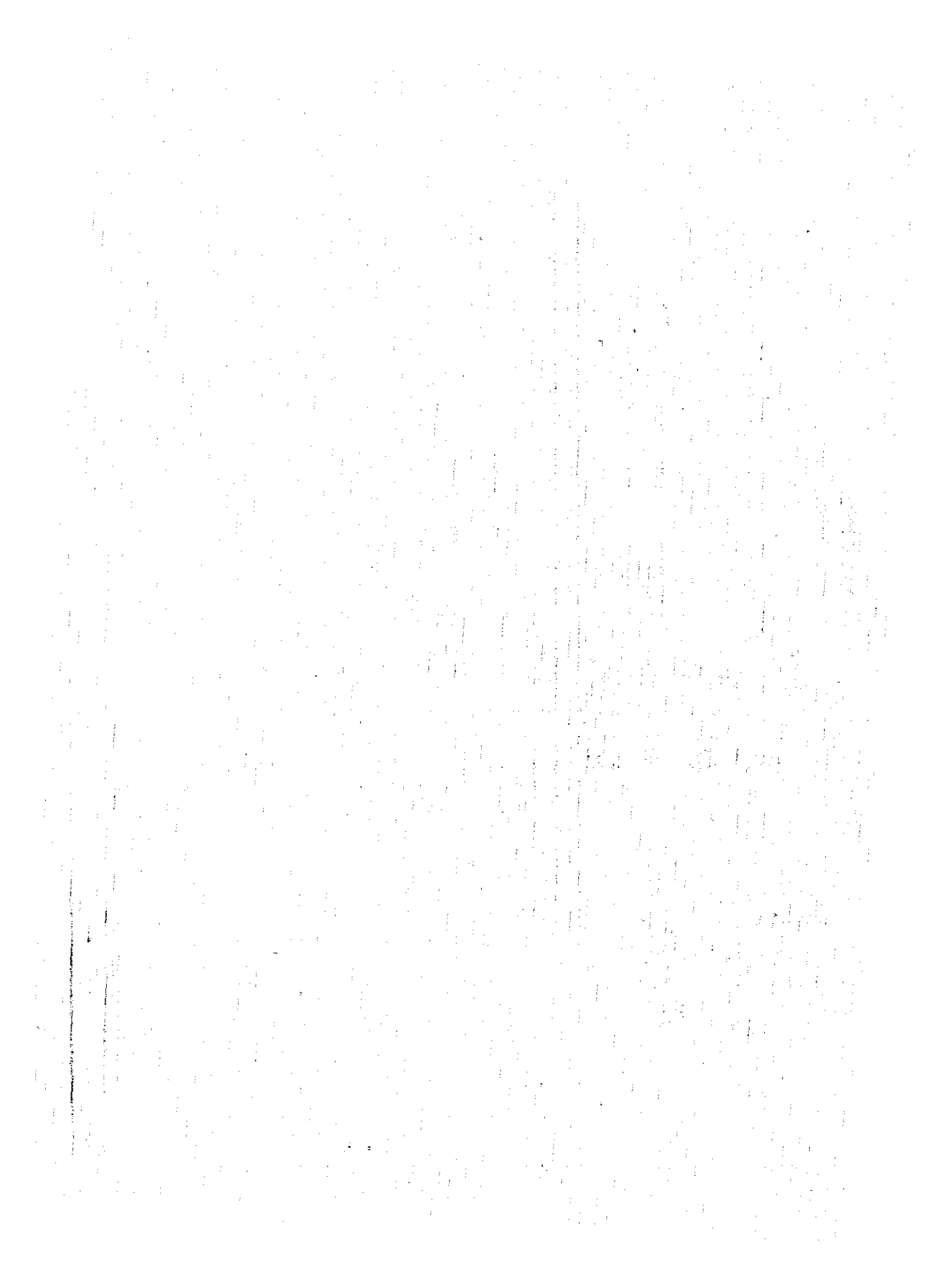


オキナワ第三移住地
市街地および公共施設

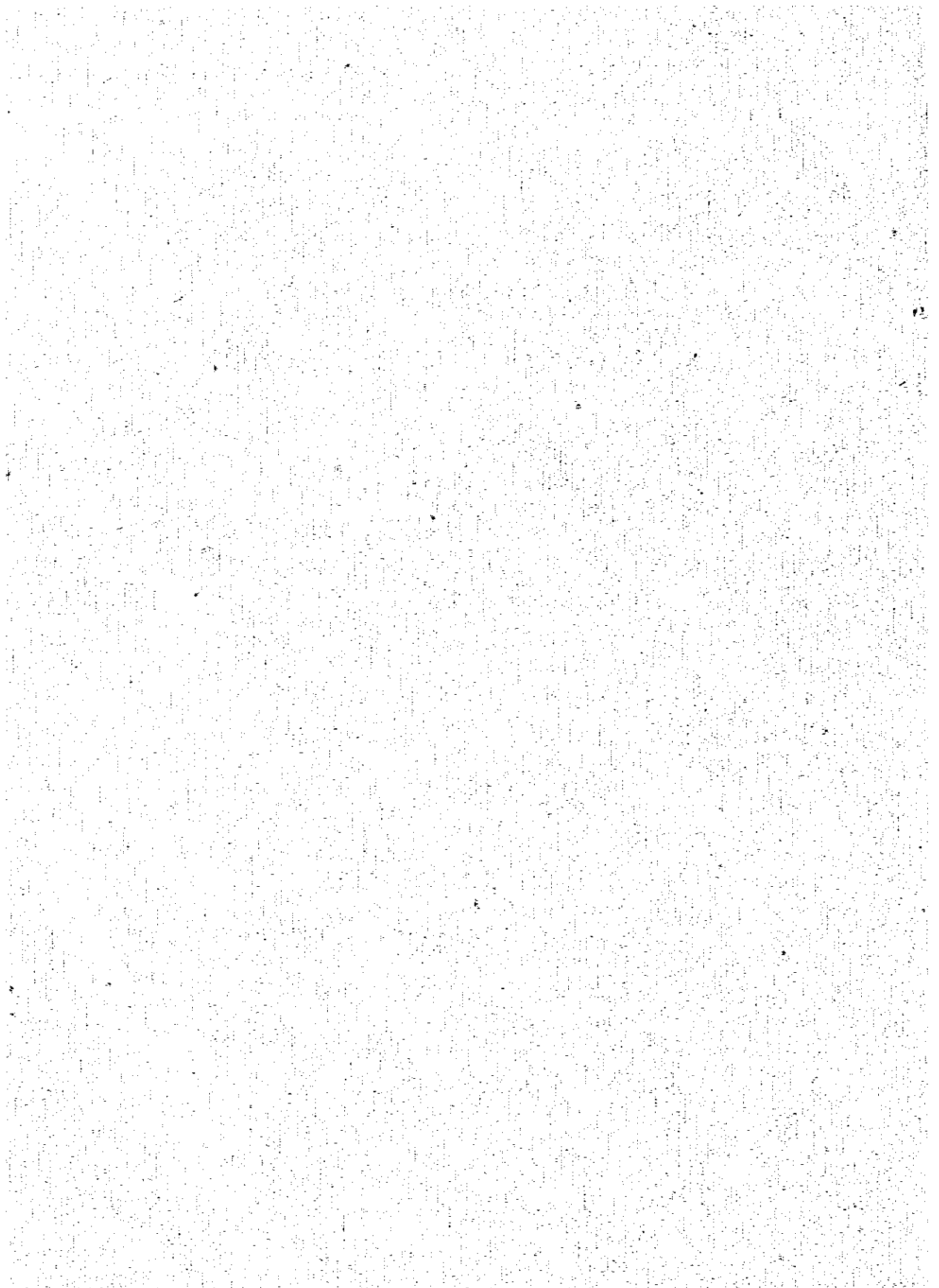


斜線印は
民家又は商店





ドミニカ共和国
IX. サント・ドミンゴ支部



ドミニカ共和国

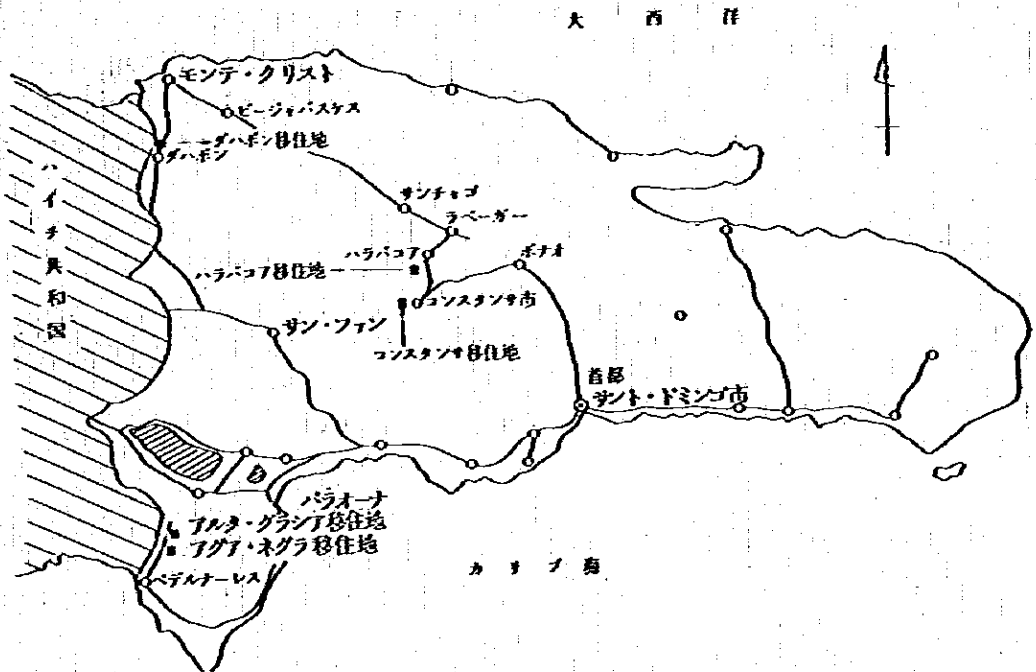
VIII サント・ドミンゴ支部

支部機構

サント・ドミンゴ支部(サント・ドミンゴ市)

管 轄

ドミニカ共和国全域



1. 基礎指標

首都：サント・ドミンゴ

面積	独立年月日	政体	宗教	言語	民族または人種構成	通貨
Km ² 48442	1844年 2月27日	立憲・ 共和制	カトリック	スペイン語	混血(白人・黒人)72% 多 スペイン系白人16.1% アフリカ系黒人10.9% その他0.1%	ペソ (Pesos) RD\$

(1) 人口、人口密度、人口増加率

	1960	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980
人口	3040	4060	4180	4300	4430	4560	4700	4840	4980	5120	5280	5430
人口密度	63	83	86	89	91	94	97	100	103	106	109	112
人口増加率	-	-	29	29	30	29	31	29	30	29	31	28

(2) 産業別就業人口(1970年)

区分	就業人口(千人)	構成比(%)	就業人口の増加率 (1970年/1960年)
農林業、狩猟、漁業	5022	45.3	99.6%
鉱業	08	0.1	333
製造業	975	8.8	1457
電気、ガス、水道供給業	17	0.2	51.5
建設業	278	2.5	1343
商業	748	6.7	1370
運輸、通信業	426	3.8	1990
サービス業	1671	15.1	1828
その他分類可能	1945	17.5	3473
計	11090	100.0	1351

出典：世銀カントリーレポート

(3) 国民所得

	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977
国民所得総額								
1人当り国民所得(ドル)	364	392	451	512	616	749		

(4) 国内総生産額 (100万 DR\$)

区 分	1970年 A	1975年 B	左同構成比 (%)		B/A × 100
			1970	1975	
農 業	3451	7650	232	212	2217 %
作物	(2327)	(5676)	(157)	(157)	(2439)
畜産	(1031)	(1783)	(69)	(50)	(1729)
林業・漁業	(93)	(191)	(06)	(05)	(205.4)
製 造 業	227	1275	15	35	5617
建設業	2754	7567	186	210	2748
運輸業	727	2565	49	71	3528
通信業	2376	5784	160	160	2434
電力	1045	1845	70	51	1766
金融	103	264	07	07	2563
住宅	175	304	12	08	1720
政府	270	701	18	19	2596
その他	1002	2278	68	64	2273
計	1521	2362	102	66	1553
計	1203	3503	81	97	2912
計	14855	36095	1000	1000	2430

出典：世界カントリーレポート

(5) 物 価 指 数

	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980
卸売物価								
消費者物価	77.2	87.4	100.0	107.8	121.7	126.0	137.6	160.5

(6) 貿易収支の推移とその主な内訳 (100万 DR\$)

項 目	1971	1972	1973	1974	1975	1976
輸 出 額	2430	3476	4421	6367	8938	7166
輸 入 額	3111	3941	4547	7922	8153	8420
貿 易 収 支	- 681	- 465	- 126	-1555	785	-1254

1974年の貿易の内訳

輸 出			輸 入		
	金 額	構 成 比 %		金 額	構 成 比 %
農 業	(5095)	(800)	消 費 財	(2136)	(269)
砂 糖	3481	54.7	食 料	1337	16.8
カカオ	480	7.5	そ の 他	799	10.1
コ ー ヒ ー	456	7.2			
タバコ	395	6.2			
そ の 他	283	4.4	石 油 等	(1550)	(19.4)
鉱 物	(1124)	(17.7)			
ボーキサイト	17.8	2.8	中 間 財	(2375)	(29.8)
フェロニッケル	931	14.6			
そ の 他	15	0.3			
そ の 他	(149)	(2.3)	真 本 財	(1903)	(23.9)
計	(6368)	(100.0)	計	(7964)	(100.0)

出典：世銀カントリーレポート

(注) 1. 大使館資料によると、最近砂糖、コーヒー等の価格が低水準で推移しているため、農業生産物の占める金額クエイトは60多程度におち込んでいる。

2. ドミニカへの日本人移住の歴史

この国との関係でもっとも重要なことは移住関係で、この国への移住は1956年3月両国間で取りかわされた交換公文に基づいてはじめられ、同年7月から1959年9月までに13回にわたり250戸1,325人の農業移住者が移住した。ドミニカへの移住は、当初ドミニカ政府が積極的で、住宅、水道などの提供や生活補給金の支給などの好条件で開始されたが、1959年6月ごろからこの国の内外情勢がたむかき悪化し大きな影響をうけた。すなわち同年8月コスタリカ米州外相会議の決議により、この国が米州諸国から外交断絶および経済制裁を受けて経済は逼迫し、農作物の値下がり、輸入途絶による物価の値上がり、生活物資の不足などの諸原因により国民生活は苦しくなった。この情勢下でトルヒーロ元帥の失脚による政情不安と日本人に対する保護も手すりすとなった。また、日本人移住者のなかにはかんがい用水不足が深刻化し、昭和37年ころから南米への転住や日本への帰国など一時不安な時期がつついた。

しかし、その後は落ち着きを取りもどし、現在、この国には約530人の移住者が定住している。

在 留 邦 人 数

国(地域)名 又 は 公 館 名	1 国籍(1+3)			2 国籍不明者			3 滞在者(日本国籍保有者)			4 日 系 人		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
イ タ リ ヤ	216	239	555	36	22	58	102	217	699	62	53	315

外務省 在留邦人数調査統計

昭和56年10月1日現在

3. 移住所在地域の概要

<p>概</p> <p>要</p>	<p>ドミニカ共和国は、南北米大陸に抱せられるカリブ海に浮かぶ西インド諸島の一つである。サント・ドミンゴ島の東2/3を占め、東はモナ海峽を隔て米領プエリトリコ島に対し、西はハイチ共和国に接し、北は大西洋、南はカリブ海に面している。</p> <p>この国の東南部は原生代または古生代、西北部は第3紀または新生代に属す。西部は山岳地帯で東南部地帯及び中央部にかけて平地を形成している。主なる山脈は、セプテン・トリオル山脈、オリエンタル山脈等でこれらは東西に平行して走っている。</p> <p>セントラル山脈はこの国の中央部に位置し、ハイチ国に連なる。西インド諸島最高峰のピコ・ドアルテ山(3,175m)がある。セプテン・トリオル山脈は北部モンテ・クリスティ県から北東部北、オリエンタル山脈は北東部をそれぞれ東西に走っている。また、西南部にはシェラ・デ・ネイバ、シェラ・デ・パオルコの2つの山脈があり、前者はネイバ湾から、後者は南部半島からそれぞれ北西部に走っている。</p> <p>河川は中央山脈を分水嶺として南西海岸に注ぎ、これらの河川の流域が農耕地となっている。主な河川としては、北ヤク、南ヤク、ユナ等があり、北ヤクは北部を流れ同国で最も長い川で、シバオ平野を西方に流れ大西洋に注ぐ。</p> <p>ユナ川はシバオ平野を東方に流れ、リマ湾に注いでいる。南ヤク川は南部地帯を流れネイバ湾に注いでいる。また、オサマ川、イサベラ川が合流して、サント・ドミンゴ市でカリブ海に注いでいる。</p> <p>この国の面積は48,442 km²で我国の九州と四国を合わせたものよりやや狭く、人口は5,430千人で人口密度は112人/km²である。しかし、中央都市及び地方都市に集中しているため、農村地帯の人口は稀薄である。</p> <p>気候は亜熱帯性海洋気候で、首都サント・ドミンゴの年平均最高気温は30℃、最低気温は20℃、年平均降水量は1,310mm、緑の豊かな島である。但し、島の中央部にWdillera Central山脈が東西に走るため標高により気候の変化がある。</p> <p>概していえば5~10月は相当暑く、11~4月は日中に比べ夜間の温度が下りしのぎやすく、4~5、9月は雨季に相当し、7~10月に台風が通過することが多い。</p>
<p>産</p> <p>業</p>	<p>この国の経済成長は再三にわたる暴落によって停滞し、またトルヒーロ独裁時代に自由主義経済の基礎を破壊したことにより、その立ちなおりがおくれたが、アメリカ援助を大きなささえとして目下経済再建に取り組んでおり、1979年のGNP成長率は3.4%である。経済の基幹は農業で、労働人口の50%、外貨獲得の71%を占めているが、農業開発はおくれている。輸出品目のうち40%が農産物で、なかでも砂糖は輸出総額の22%を占めている。主要農業生産物はさとうきび、コーヒー、ココア、タバコなどである。</p> <p>工業事情は、国民の工業部門の就業人口のわずか18%で、製造工業の65%は砂糖、タバコ、食料品などの農産物加工製造業が占め、アメリカ資本の支配力が強く、このほか鉄礦物、セメント、ペンキ、石けん、くつ、家具の加工製造業があるが見るべきものはない。</p> <p>この国は後進性から脱皮するために目下経済開発をすすめており、外国からの借入や米州開発銀行の資金援助などを受け、道路、港湾施設の工事、農業センターおよび教育、医療施設の建設をすすめて</p>

	いる。
主 要 都 市	<p>サント・ドミンゴ市 首都、人口 123 万人、ラテン・アメリカ諸国中最古の都市で、1496年にコロンブスの弟バルト・ロメ・コロンによって建設された。1939年から61年までのトルヒーリョ独裁政権下の時にトルヒーリョ市と呼ばれたこともあるが、政権崩壊とともにふたたびサント・ドミンゴ市と称されるようになった。政治・経済文化の中心地で、中央官庁のほか、1538年創立された最古のサント・ドミンゴ大学、コロンブスの遺体を安置してある大寺院もあり、また、コロン初代総督が1510年にすぎた居城は現在コロンの博物館として有名である。</p>
	<p>サンチャゴ市 この国第2の都市で人口約48万人、農業、商業、工業の中心地である。シヤシ、ラム酒やタバコなどの製造工場が多い。</p>

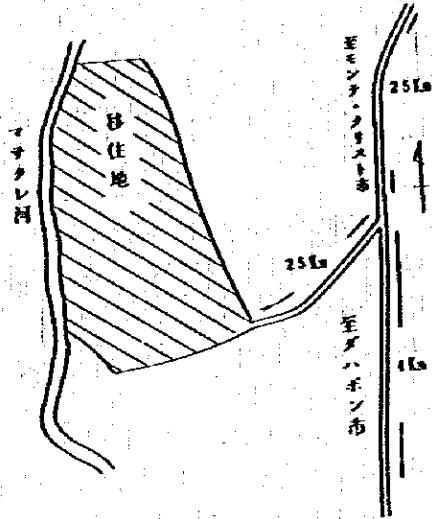
4. 移住地の概要

(1) ダハボン移住地

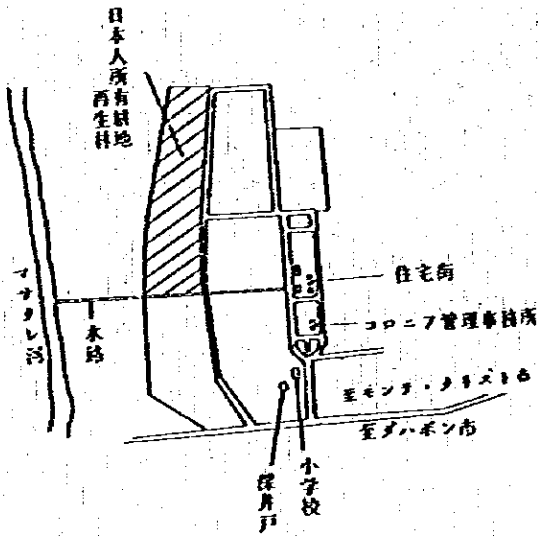
所在地	ダハボン県ラ・ビヒア COLONIA LA VIGIA, DAJABON	
面積	1,200 ha	
経緯	国境地帯開発のため創設された国営移住地で、1956年(昭和31年)7月29日、28戸、185名の日本人移住者が、初めて入植した。しかし、募集要項どおりの土地配分がなされなかったこと、灌漑水の絶対量が不足したこと、さらに、暴乱等により転出者が続出し、かつては日本人移住地として、最盛期には58戸入植したが現在は8戸まで減少している。	
自然環境	地形 地質・土壌 植生・林相 気候	一部小丘を除き概ね平坦であるが、南から北へわずかな傾斜をなしている。 酸性暗色の埴壌土または埴土であるが、河沿低地帯は肥沃である。 樹木は繁茂しているが、河沿いより離れるに従い、乾燥地帯特有の幹の細い葉の小さい灌木となっている。 最高平均気温(8月頃)28.4℃最低平均気温(1月頃)22℃夏季は相当に暑い が、夜は比較的涼しく過ごし易い。平均年間降雨量1,200~1,300mm1月~3月は乾期で、降雨量は極端に少ない。
社会環境	交通 医療・教育 電気 飲料水 区内道路整備状況 公共施設 事業団長兼組合等	移住地より東方2.5km地点に、ダハボン~モンテ・クリスト間のアスファルト道路があり、移住地からこれらの町へは随時乗合タクシーが連結している。ダハボン市~サント・ドミンゴ市間(300km)には、定期バスが1日2回運行している。 ダハボン市(人口22,753人)、南東6.5km、モンテ・クリスト市(人口15,000人)北北東3.5km。 地区内には医療施設がないが首都サント・ドミンゴ市は各種医療施設が完備しており、当団管轄医をしている。 学校は、地区に小学校、ダハボン市に小学校、中学校併用の初等校(8年)と高校がある。 導入されておらず自家発電による。 共同水道 舗装されていないが極めて良好 灌漑用深井戸 野球場

人 植 世 帯 数	ダハボソ		入植世帯数		農家戸数			
			戸数	人数	戸数	人数		
		日本人	居住 非居住 計	8 - 8	24 - 24	4 - 4		
主なる出身県名		高知	福島	山口	福岡		その他	合計
戸数		2	2	2	1		1	8
分 譲 状 況	総面積	1,200 ha						
	ロッテ面積	6 ha						
	分譲条件および価格	無償、土地は入植8年後に無償譲渡						
分 譲 状 況	分譲面積	未分譲面積		道路市街地等利用地		除地		
	1,200 ha							
地 権 取 得	全戸取得済							
農 業	主作目	水稻(2期作)						
	形態	水稻を専業とし若干の畜産を取り入れている。						
	農機具の普及状況	トラクター 0.6台, トラック 0.6台, 耕運機 1.2台 (一戸当り)						
	家畜飼養頭数	肉牛 18頭, 乳牛 7頭, 役牛 12頭, 役馬 0.2頭 (一戸当り)						
	営農指導機関	事業団サント・ドミンゴ支部						
金融機関	同上, 銀行							
主作物取扱機関	ドミニカ食糧公社, 民間精米所の個人扱し							

地区略図



移住地略図



(2) コンスタンサ移住地

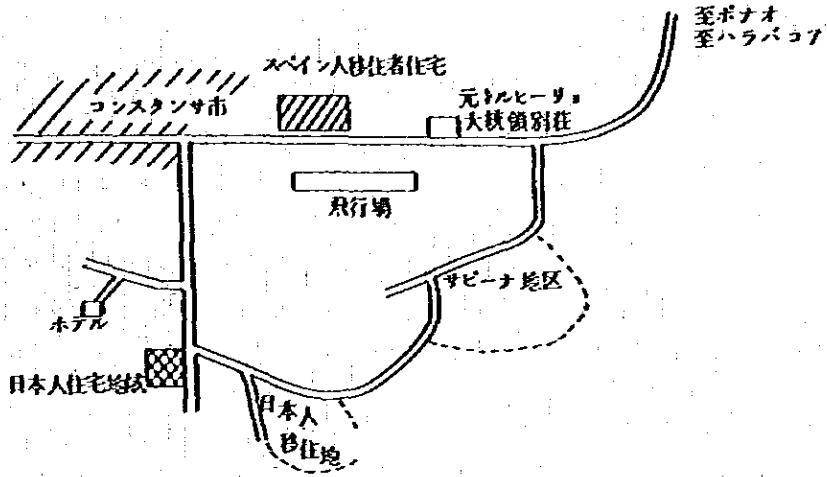
所在地	ラ・ベール州コンスタンサ COLONIA JAPONESA CONSTANZA, LA VEGA	
面積	900 ha	
経緯	昭和31年初めて日本人移住者17家族120名が入植したが、それ以前には、スペインからの移住者も入植している。当地は蔬菜を充足するため設定した蔬菜園芸移住地で、最初の土地配分が缺少のため転住者を募って土地を確保し、土地問題は解決したが、ハラバコア移住地が蔬菜をつくることにより生産過剰となり、また連作による地力消耗ならびに投機的作付によって行き詰まり、トルヒーリョ将軍暗殺後、帰国ならびに南米転住者が続出した。現在の入植戸数は11戸となっている。	
自然環境	地形	この国の中央部セントラル山脈内のコンスタンサ盆地にあり、標高1,200mの高原地帯である。
	地質・土壤	土壤は黒色又は黒褐色の埴土で酸性である。
	植生・林相	樹木は松が一般に多いが混伐が強く、減少の一途をたどっている。
	気候	年間平均20度前後で風光明媚の景観の地である。 最高平均気温 25.8℃、最低平均 10.9℃、年平均 18.3℃ 雨期5～10月、乾期11月～4月、年間平均降雨量1,060mm
社会環境	交通	乗合タクシーが一般の交通機関となっており、ラ・ベール～サント・ドミンゴ間は乗合バスが数多く運行している。 ハラバコア市人口45,036人、北東43Km、サンチャゴ市人口48万人、北92Km、ラ・ベール市人口194,508人、北東48Km、サント・ドミンゴ市人口123万人、南東140Km コンスタンサ市 34,453人
	医療・教育	地区内に医療施設はない。地区外のコンスタンサ市には公立病院1、公立保健所1、私立病院2がある。 地区内に学校はないがコンスタンサ市に小学校、中学校併用の初等校と高校(夜間)がある。
	電気	全戸都市電気がある
	飲料水	都市水道が完備している。
	地区内道整備状況	幹線は住宅地区まで完全舗装されている。地区内道路は舗装されていないが雨天の際も車輛の運行が途絶えることなく良好である。

人 植 世 帯 数	コ ン ス タ ン サ		入植世帯数		農家戸数
			戸 数	人 数	戸 数
	日 本 人	居 住	16	59	11
		非居住	-	-	-
計		16	59	11	
		-	-	-	

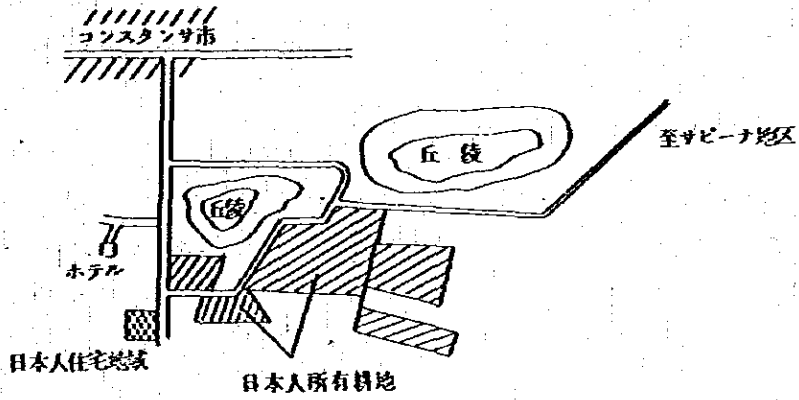
主なる出身県名	鹿児島	山口	福岡	合計
戸 数	7	3	1	11

分 該 状 況	耕 面 積	900 ha			
	ロ ッ テ 面 積	5 ha			
	分該条件および価格	無償、土地は入植10年後無償譲渡			
分 該 状 況	分該済面積	未分該面積	道路市街地等利用地	除 地	
	900ha				
農 業	主 作 目 形 態	サヤエンドウ、ニンニク、タマネギ、カリフラワー等の蔬菜類 蔬菜の専業が大部分を占め、バラ、キク、カーネーション等の花卉農家もある。			
	農機具の普及状況	トラック 19台 トラクター 0.6台 乗積 20台 (一戸当り)			
	家畜飼養頭数	肉牛 155頭 乳牛 0.9頭 役馬 0.7頭 (一戸当り)			
	営農支援機関	事業団サント・ドミンゴ支部			
	金融機関	同上及び銀行			
業主作物取扱機関	業者に直売、市場へ個人出荷、サント・ドミンゴ市のスーパーマーケット、輸出用サヤエンドウはニューヨークの中国料理用として輸出業者へ出荷				
そ の 他	標高が1200mの高原地帯、この自然環境を生かし蔬菜の集約栽培を行っている。				

地区略図



移住地略図

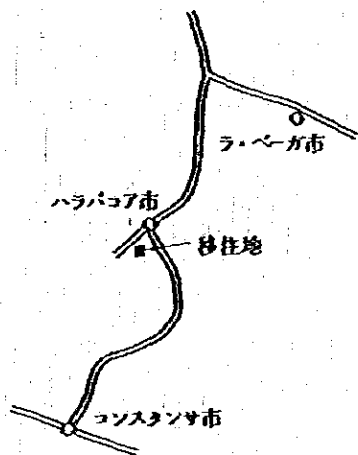


(3) ハラバコア移住地

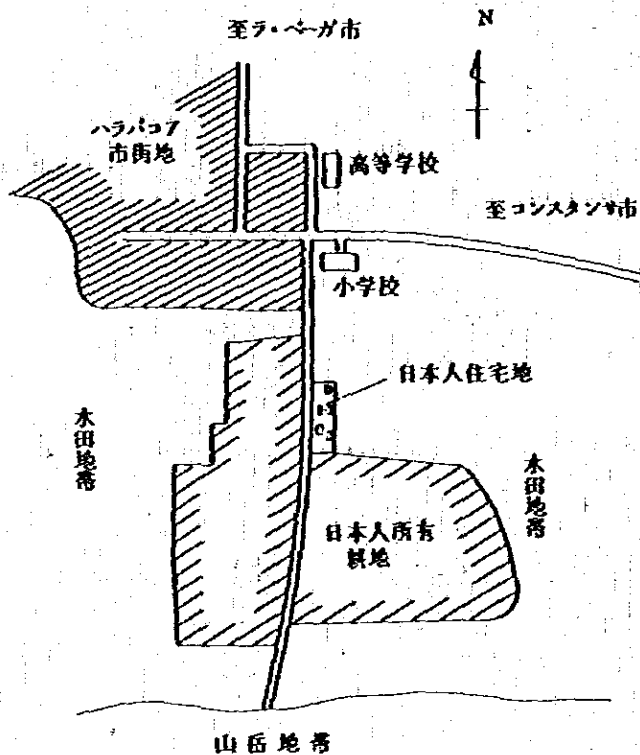
所在地	ラ・ベータガ県 COLONIA JAPONESA JARABACOA, LA VEGA	
面積	470 ha	
経緯	中央セントラル山脈内のハラバコア盆地に位置し、気候にめぐまれ交通の便もよい。1957年(昭和32年)コンスタンサ移住地より転住者13戸により入植が初まった。野菜指定移住地でトマト、ナスを主作とし、気候が良い理由で転入者は多く一時は86家族までとなったが、市場の伸び悩みと水路の完成によって水稲が栽培されるようになり、当初の野菜移住地は水稲移住地に変ぼうした。ことでも過剰入植と転入から転出者が続出、現在は14戸となっている。	
自然環境	地形 地質・土壌	セントラル山脈内の標高600~700mの谷間の台地で傾斜が多い。 表土40~50cmで黒褐色の壤土または堆積土で酸性。 石灰岩質の礫が含まれている所もある。
	植生・林相 気候	本地区周辺は、樹高20m以上の木からなる森林地帯であり、椰子類が多く含まれている。 雨期5~10月、乾期11~4月、年間平均降水量1,456mmで年間平均しているが特に5月が最も多い。 最高平均気温29.3℃、最低平均16.3℃、年平均22.8℃
社会環境	交通	国土の中央に位置し、各主要都市に最も近く交通も至便である。 移住地は首都サント・ドミンゴ市北西155km、サンチャゴ市南々東49km、ラ・ベータガ市北西29km地点にあり、当地区はハラバコア市の南0.5kmの町はずれに在る。ハラバコア市は最近、特に避暑別荘地として急速に開発が進められている。 サント・ドミンゴ市人口123万人、南東155km、サンチャゴ市人口48万人、北北西49km、ラ・ベータガ市人口195万人、南東29km、ハラバコア市人口4.5万人北0.5km
	医療・教育	地区内に医療施設はない。隣接のハラバコア市には公立病院1、私立病院2がある。またハラバコア市には、小学校、中学校併用の初等校と高校がある。移住者子弟のために日本語学校も開かれている。
	電気	全戸都市電気が入っている。
	飲料水	都市水道を利用
	地区内道路整備状況	途絶することなく通行可能である。
その他	農産所有の共同乾燥場	

入植世帯数	ハラバコア		入植世帯数		農家戸数		
	日 本 人	居 住	戸 数	人 数	戸 数		
		非居住	-	-	-	-	
		計	14	55	13		
現 地 人		-	-	-			
昭和56年4月1日現在							
主なる出身県名		鹿 児 島	福 島	熊 本	徳 島	その他	合 計
戸 数		4	3	2	2	3	14
分 譲 状 況	総 面 積	470 ha					
	ロッテ面積	46 ha					
	分譲条件および価格	無償、土地は入植10年後無償譲渡					
分 譲 状 況	分 譲 面 積	未 分 譲 面 積	通商市街地等利用地		除 地		
	470 ha	0	0		0		
農 業	主 作 目 形 態	水稻、ダイコン、ウリ、キュウリ、カリフラワー 水稻を中心として、蔬菜のほか畜産を取り入れた多角経営を行っている。 水稻は2期作を行っている。					
	農機具の普及状況	トラック08台 耕運機25台 トラクター02台 動力22台(一戸当り)					
	家畜飼養頭数	乳牛93頭 肉牛89頭 役牛07頭 役馬08頭 (一戸当り)					
	営農指導機関	事業団サント・ドミンゴ支部					
	金融機関	同上、銀行 ドミニカ食糧公団、民間精米所、蔬菜は庭先販売、サンティアゴ、サント・ドミンゴ市場へ出荷					

地区略図



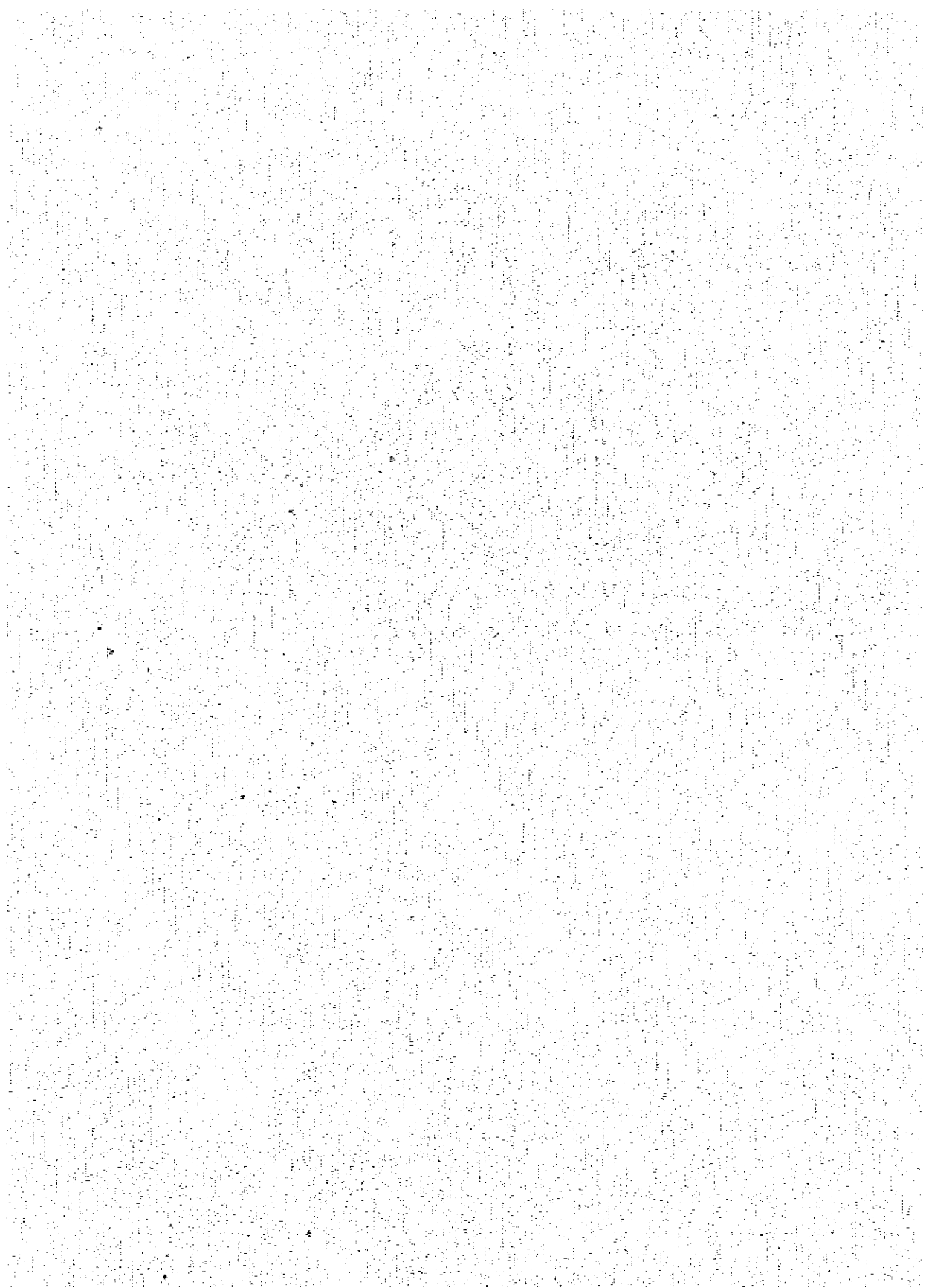
移住地略図



付 録

移住地内日系団体一覧

1. ベレーン支部
2. レシーフェ支部
3. リオ・デ・ジャネイロ支部
4. サン・パウロ支部
5. ホルト・アレグレ支部
6. アスンシオ支部
7. サンタ・クルース支部
8. サント・ドミンゴ支部



団体名(日本語)	代表者及び所属機関名(在期)	住所(州、市、町、村、番地)	会員の数	設立の年月日及び取組の目的	活動の概要	関係機関	備考
アマゾン日本会	佐山 清典 SHIBAYAMA MITSUYOSHI	AV. CONTACT. NORTIS 1136 MACAPA. EST. AM- APA BRASIL	27	会の目的は 要する個 人、団体	1. 日伯文化交流 2. 日伯普及 3. 社会生活向上		
アマゾン・アマゾン農業協同会	三木 雅弘 MIKI YOSHIKIRO	ESTRADA TORQUATO TAPAJOS. IOMI RUA 10. DE JUCHOBI MANAUS. AMAZONAS	36	単行員	地域の農村振興及び社会生活向上		
アマゾン・アマゾン文化協会	藤田 豊 FUJITA TAKESHI	RUA 7. RODOVIAN-070 MANAUS. AMAZONAS.	31	個人	1. 自由文化交流 2. 日伯普及 3. 学生界の調査 4. 医療福祉事業		
アマゾン・アマゾン文化協会	伊藤 雅 SUZUO IWAO	C. P. 237. PORTO VELHO ESTADO DO RONDONIA	25	個人	1. 自由文化交流 2. 日伯普及 3. 学生界の調査 4. 医療福祉事業		
アマゾン・アマゾン文化協会	山崎 大郎 YAMASAKI TARO	TV. 9. DE JANEIRO 1267. BELEM PARA. BRASIL	個人 220 個人 43	個人 個人	「パン・アメリカ」 1. 日伯関係、文化交流 2. 日伯普及 3. 北回日共関係との調査、報告 4. 学生界の調査、視察調査		
アマゾン・アマゾン文化協会	大石 一 OOTSUKI KAZUHIKO	TV. 9-DE JANEIRO 1267. BELEM. PRA. BRASIL	個人 1,292	個人 個人	「パン・アメリカ」 1. 福祉事業 2. 病院の建設 3. 教育、労働者の育成		
アマゾン・アマゾン文化協会	辻 小次郎 TSUJI KOHEI	JARDIM NOVA-SANTANA- EM CASA 20. SANTANA- M. PARA. BRASIL	27	個人 個人	1. 自由文化交流 2. 日伯普及 3. 社会生活向上		
アマゾン・アマゾン文化協会	河合 誠一 KAWAI KEICHI	C. P. 110. ALTAMIRA. PARA. BRASIL	12	個人 個人	1. 自由文化交流 2. 日伯普及 3. 社会生活向上		

開 会 名 (日 本 語 名、和 語 名)	代 表 者 名 氏 名 及 任 職 職 名 、 在 籍	通 信 先 (通 信 用 途 、 通 信 所 の 用 途 、 及 ビ ラ の 用 途)	会 員 の 数 名	会 員 の 取 得 日 月 日	開 会 の 年 次 、 開 会 の 場 所 、 開 会 の 趣 旨	開 会 の 趣 旨 、 開 会 の 場 所 、 開 会 の 趣 旨	備 考
アソシエイション・ニポ・ブラジ ASSOCIACAO DE CULTU- AL NIPO BRASILEIRA DA SANTA IZABEL	北川 雄一 KITAGAWA YUKIICHI	BR 316 KM41, SANTA IZABEL, PARA, BRASIL	個人 69	1962. 12月			1. 日中文化交流 2. 日語普及 3. 社会生活向上
セント・アントニオ・ブラジ 日本会	佐藤 幸弘 SATHO YASAHIRO	A/C. COOP. PARANENSE, SANTA IZABEL, PARA, BRASIL	個人 40				1. 日中文化交流 2. 日語普及 3. 社会生活向上
カサバマ・ニポ・ブラジ文化協会	川上 雄 KAWAKAMI YUICHIRO	RUA TIRADENTENS 1117, CANTANHAL, PARA, BRASIL	個人 124	1977. 4			1. 日中文化交流 2. 日語普及 3. 社会生活向上
イガラ・ニポ・ブラジ文化協会	黒川 幸博 KUROKAWA YASUHIRO	RUA 40, ICARAPÉ-AÇU, PARA, BRASIL	個人 35				1. 日中文化交流 2. 日語普及 3. 社会生活向上
チンボ・チンボ文化協会	森 正 博 MORITOMI MASASHI	MUNICIPIO TIJUCO TRUA, PARA BRASIL	個人 13				1. 日中文化交流 2. 日語普及 3. 社会生活向上
チンボ・チンボ文化協会	千原 久夫 CHIIBA HISAO	MUNICIPIO ST. MARIA, PARA, BRASIL	個人 14				1. 日中文化交流 2. 日語普及 3. 社会生活向上
チンボ・チンボ文化協会	伊藤 幸彦 ITOHI MASAHIKO	MUNICIPIO ANASTO- RA, PARA, BRASIL	個人 30				1. 日中文化交流 2. 日語普及 3. 社会生活向上
チンボ・チンボ文化協会 ASSOCIACAO DE CULTURAL NIPO-BRASI BRASILEIRA DA MABANHAO	水間 邦雄 MIZUMA KUNIO	C.P. 477900PRINHAS SAO LOUIS, MA, BRASIL	個人 45				

団体名 (日本名称、和名等)	代表者名及び 組織体名、在留 地	通称先(県別 市町村)及び電 話の別	会員の住所	会員の数	外国人の国籍 及び取得年月日	所長及び副 長の国籍・内 務・職員数・等	関係機関の 名称及び 関係	備 考
カキイロ日本会	佐藤 幸三 SATHO HIJIJI	VILA NOVA COQUEIRO, PARA, BRASIL	個A・個B	40				1. 日本人の定着促進 2. 社会経済の向上 3. 農村復興に必要なる事業
アマゾン日本会	YOSHIDA YOSHIDA TEISUKU	A/C NOBUO NAKAJIMA BELEN PARA BRASIL	個A・個B	29				1. 日本人の定着促進 2. 社会経済の向上 3. 農村復興に必要なる事業
アマビロ日本会	MONNA SHINTARO	A/C YOSHIMI NOGUCHI (CHASA) BELLEN PARA BRASIL	個A・個B	16				1. 日本人の定着促進 2. 社会経済の向上 3. 農村復興に必要なる事業
アマゾン日本会	SHICHTOMO SHICHIKI	A/C YOSHIMI NOGUCHI (CHASA) BELLEN PARA BRASIL	個A・個B	13				1. 日本人の定着促進 2. 社会経済の向上 3. 農村復興に必要なる事業
アマゾン農業協同組合 COOPERATIVA AGRICOLA MISTA DO PARANASE LTD	藤原 清 FUJIHARA HIROHITO	BR 316 KM 4, ST. IZAR EL PARA, BRASIL	個A	65	1956. 5.30 既住 55名 役員 12名			地域の農村復興に必要なる事業
アマゾン農業協同組合 COOPERATIVA AGRICOLA MISTA DE AMAZONICA	山本 光男 YAMAMOTO TAKUO	BR 316 KM 2 CASTANH AL PARA, BRASIL	個A	33	1974.1.20 既住 14名 役員 10名			地域の農村復興に必要なる事業
アマゾン農業協同組合 ASSOCIACAO NIPO- BRASILEIRA AMAZONIA OCCIDENTL	中野 義博 NAKANO YOSHIKATSU	AV. TERRAZINA 93 ADRIANOPOLIS, MANAUS, AMAZONAS	個A・個B	個A 230 個B 10	1965. 3.29 1970. 3.25 既住 1961. 2.10			1. 自国文化交流 2. 日語普及 3. 学生等の教育 4. 民衆福祉事業
アマゾン農業協同組合 CAGROIARA GRANDE	伊藤 博 IIDA TSUTOMU	BALTO DE CASBORRA- GRANDE, MANAUS, AMAZONAS	個A	20				1. 自国文化交流 2. 日語普及 3. 学生等の教育 4. 民衆福祉事業

団体名、住所、代表者名 (日本語、和語)	代表者名及び住所 個人名、任期	住所先(県別、市町村別)及び電話番号	会員の住所	会員の数	法人格取得の年月日 及び取得の経緯	新設の経緯 目的、経緯、内 容、職員数等	新設の経緯 目的、経緯、内 容、職員数等	備考
アソシエイション ASSOCIACAO CULTURAL ACURA	小島 幸次 KOIKE OSAMU	C. P. 02, RIO BRANCO, ESTADO DO ACRE	個人	20			1. 日葡文化交流 2. 日葡普及 3. 学生等の調査 4. 国際交流促進	
アソシエイション ASSOCIAÇÃO NIPO- BRASILEIRA DA ROA VISTA	正井 憲一 DOI KENZABURO	C. P. 199, ROA VISTA	個人	11			1. 日葡文化交流 2. 日葡普及 3. 学生等の調査 4. 国際交流促進	
アソシエイション ASSOCIACAO NIPO- BRASILEIRA DA ESPORTIVA ARGUMENTS	長瀬 清 GOTHO MITSURU	C. P. 64, AR QUEMEN ANTADO DO RONDONIA	個人	45				

五. レジューブ文部

団体名(名称)	代表者及び任期 氏名(氏名), 任期	連絡先(住所, 電話番号) 住所(州)及び電話	会員の国籍	会員の数	法人格取得年月日 及び取得の形態	活動の形態 目的・内容 活動形態等	所在地 州・市・町・区	備考
レジューブ文部協会 ASSOCIAÇÃO CULTURAL JAPONESA DO RECIFE	尾山 隆之 ナシモル 文部 任期 2年	AV. DANTAN BARBETO n-191 N/222 MUNICIPIO ENT. PEJINAM BUCCO	日本人 及日本人	250	1976. 7. 19			
レジューブ文部協会 ASSOCIAÇÃO CULTURAL NIPPO-BRASILEIRA DE SALVADOR	岸川 初夫 キシカワ 初夫	RUA DO SANCRAOURO 134 SANTO AGOSTINH O SALVADOR-BA	日本人 及日本人	134	1975. 5. 31			
レジューブ文部協会 ASSOCIAÇÃO CULTURAL ES PORTIVA E AGRICO LA DE SUL DA BAHIA	岸川 初夫 キシカワ 初夫	AV. PRINCIPAL 118 POSTO DE MATA NOVA VICOSA ESTADO DA BAHIA	日本人 及日本人	70	1975. 2. 16			
レジューブ文部協会 (名称)			日本人	44 (440)	1975. 4. 4			3月21日創立の会館中
レジューブ文部協会 ASSOCIAÇÃO CULTURAL NIPPO-BRASILEIRA DA COLONIA UNA	岸川 隆 キシカワ 隆	A/C PIC-UNA MUNICIPIO UNA ESTADO DA BAHIA	日本人 及日本人	44	1975. 4. 4	公民館		
レジューブ文部協会 ASSOCIAÇÃO CULTURAL NIPPO-BRASILEIRA DO PROJETO INTEGRADO DE COLONIZAÇÃO DE ITUBERA	岸川 隆 キシカワ 隆	CC. POSTAL N017 ITUBERA ESTADO DA BAHIA	日本人 及日本人	84 及 80	1977. 7. 4 (創立 1977. 227)			
レジューブ文部協会 ASSOCIAÇÃO CULTURAL NIPPO-BRASILEIRA DA COLONIA J-K	岸川 隆 キシカワ 隆	COLONIA J-K MATA DE SÃO JOÃO ESTADO DA BAHIA	日本人 及日本人	72	1974. 12. 22	公民館		
レジューブ文部協会 ASSOCIAÇÃO CULTURAL NIPPO-BRASILEIRA DE TAPERUA	岸川 隆 キシカワ 隆	RUA SAUL OLIVEIRA S/N TAPERUA ESTADO DA BAHIA	日本人 及日本人	44	1975. 4. 4			

III. リオ・デ・ジANEIRO支部

団体名 (日本名称)	代表者名及び所属 団体名、任期	住所先(事務所住所 事務所)及び登記 簿上の別	会員の住所	加入前住所の 氏名及び居住年月日	住所変更 理由の別、同 家・親戚等	所属国の 名称及び 発行番号	備考
Associação Cultural e Esportiva de Punchal	代表 市野 英夫 任期 3年	州府名、市、区、 C/P 38 CACHORIRAN DE MACACU ENHO - CACHORIRAS DE MACACU ENTADO DO RIO DE	会員の住所 Punchal - RJ	1976.11.8 加入登録済	分館 無住所なし		

IV. サンパウロ支部

団体名、住所名) (日本名称、住所名)	代表者及び所属 団体名、在籍地	活動先(本邦、海外) 住所の別)及び電話の別	会費の名称	会員数	法人取得の年月日 及び取得年月日	請求先住所、内 容、郵便番号	所属の所属 及び郵便番号	備考
サンパウロ農業文化体育協会 ASSOCIAÇÃO AGRO- CULTURAL E ESPORTIVO DE PARATY DE MELLO	大田 邦 一 1年	サンパウロ州ジョカレム郡中 央ポスタル、ジョカレム郡中 央 CAIXA POSTAL 144, JACARKI	ジョカレム 郡中中央 の郵便	43	法人取得 1979. 9. 19	公立館 日語学校 英語習字 教室		
ブラジル農業文化体育協会 ASSOCIAÇÃO AGRO-CU LTURAL E ESPORTIVO DE QUATARA	岡田 邦 一 2年	サンパウロ州リベロン・プレ ト郡グアタラ郵便局(公立 館) CAIXA POSTAL 42 RIBEIRAO PRTO	グアタラ 郡中中央 の1軒以 上の寄	100	法人取得 1981. 6. 4	グラウンド	グアタラ郵便 150番	
ピマヤール農業文化体育協会 ASSOCIAÇÃO CULTURAL E ESPORTIVO DE COLONIA PINHAL	山田 典 次 1年	サンパウロ州サン・イザベル 郡中中央郵便局(公立 館) CAIXA POSTAL 40, NAO MIGUEL ARCANJO			法人取得	公立館 日語学校		
マクリエーラ農業文化体育協会	藤井 政 一 1年	サンパウロ州マクリエーラ 郡中中央郵便局(公立 館) CAIXA POSTAL 100, OURINHOS			未公認			
農業文化体育協会 SOCIEDADE DON AGRIC- ULTORES DA COLONIA CHREJERIA	岩 尾 博 光 3年	サンパウロ州グアタレム 郡中中央郵便局(公立 館) CAIXA POSTAL 119, MOJI DE CRUZES	農業文化 体育協会 の本部に 在する員 人	62	法人取得 1984年	公立館 教室		

V. ホルト・アレグレ支部

団体名(在留名) (日本語、在留名)	代表者及び 高田姓名、在留名	所在地(在留地)及び電話	会員の国籍	会員数	法人取得の年月 及び取得年月日	経理者の国籍 及び国籍別人数	職員及び 役員数(名)	職員の名簿 及び役員名簿	種
イボタ協賛組合 (COOPERATIVA HORTIG- BANIERA MISTA IVOTI LTD.)	加藤英 博	AV. COLONIA JAPONESA SA VALE DAS PALMEI- RAS IVOTI-RS (在留地事務所)	イボタ人 農業者	41	(法人取得可) (1972年)	農業者 専務員 4名	なし	なし	
イボタ協賛文化協会 (ASSOCIAÇÃO CULTURAL E ESPORTIVA NIPO- BRASILEIRA DA COLON- IA IVOTI)	高田 英 博	AV. COLONIA JAPONESA SA VALE DAS PALMEI- RAS IVOTI-RS	イボタ人 日本人	45	(法人取得可) 1971年3月	同	なし	(在留地事務所)	
ポルト・アレグレ協賛会 (ASSOCIAÇÃO GAUCHA NIPO-BRASILEIRA)	高田 英 博	AV. JAIME VIGNOLI 235 PORTO ALEGRE- RS(在留地事務所)	ポルト・アレ グレ人 日本人	30	(法人取得可) 1971年	同	なし	なし	
ポルト・アレグレ協賛会 (ASSOCIAÇÃO CULTURAL E ESPORTIVA NIPO-BRA- SILEIRA DE SÃO JOAO QUIM)	高田 英 博	CALSAPOSTAL 187, SÃO JOAQUIM-SC	サン・ジョ アキニ人 日本人	40	(法人取得可) 1979年	同	なし	なし	
ポルト・アレグレ協賛会 (ASSOCIAÇÃO DE ASSIS- TIENCIA A COLONIA JAPONESA SUL DO BRASIL)	高田 英 博	AV. JAIME VIGNOLI 235 PORTO ALEGRE-RS (在留地事務所)	南米2州人 日本人	511	(法人取得可) 1966.10.11	農業者(専任) 6)専務員	なし	(在留地事務所) 毎月発行	
ポルト・アレグレ協賛会 (ASSOCIAÇÃO CULTURAL E ESPORTIVA NIPO- BRASILEIRA DE PORTO ALEGRE)	高田 英 博	同上(在留地事務所)	リオ・グ ラノス・ポ ルテ人 日本人	224	(法人取得可) 1974年	なし	なし	(在留地事務所)	

Ⅴ. アスジョン支部

明 係 (日本社名、内職名)	代 理 者 氏 名、内 職 名、任 期	基 礎 情 報 (事業先(共同農協事務所設置 場所の州)及び電話)	会 員 の 数 等	会 員 の 成 員	会 員 数	法人格取得の有無 及び取得年月日	除 加 賦 の 有 無 及 名 義 引 当 金	注 意 事 項 等	備 考
アムロコ社	坂本 義 孝 所属：アムロコ社 任期：1974年	COLONIA PIRAM LA PAZ, PARAGUAY TEL. 40	日本人及び 日本人 3名 17名 A.C.I. 99名	日本人及び 日本人 1970年9月 10日附 解散決定 第205号にて 仮定組合となる	仮会員19400名 可 期日1970.02.19	なし	なし	合衆、海防協 職員3名 市民相互の援助、移民等の経済的 社会問題等の解決など	
チンペル日本人会	森 村 成 市 所属：チンペルシヤ シヤ 任期：1974年	COLONIA PEDRINICO CHAVEN, CALLE D-A, TRI PARAGUAY	日本人及び 日本人 40名 人口： 241人	なし	仮会員3719名 可 期日1974.2.10	なし	なし	各種文化活動—家庭環境の企画実施 社交関係構築等	
アムロコ農協同組合 COOPERATIVA PIRAM AGRICOLA LIMITADA	山 本 義 孝 1974年	Colonia PIRAM, La Paz, Dpto. de Itapua, PARAGUAY	日本人及び 日本人 (フクム及 びチンペル 移民家族等 者)	なし	1970年9月 10日附 解散決定 第205号にて 仮定組合となる	なし	なし	組合事務所 4 会 員 5 債 務 所 2 地 産 物 販 売 所 1 トランプ、 信用金 3	取立、販売、信用、利用、経済、 資金提供の5紙。 各紙相互に連携。
ピラポ農協 ASOCIACION JAPONESA DEL PIRAPO	小 山 義 孝 1974.1.1 1974.2.21	COLONIA ALTO PIRAMA (PIRAPO) TELAMI (PIRAPO) 中米農協協同組合 CANILLA DE CORRO M84 ENCARNACION, PARAGUAY AY	日本人及び 日本人 30名	なし	法人格取得 1974.1.22	なし	なし	自治会事務所 非公認 職員 事務所員 1 職員 3 水、農業、福祉 婦人会、青年団、体育連盟、 合唱(男)会等計7人(4) 文化促進委員会	(1) 設立1967年4月 (2) 主な業務 ・ 共同生活施設及び生活設備の取 組。・ 労働教育。・ 治安、土 木、農業、福祉 (3) 傘下組織 婦人会、青年団、体育連盟、 合唱(男)会等計7人(4) 文化促進委員会
ピラポ農協同組合 SOCIEDAD COOPERATIVA PIRAPO AGRICOLA LDA.	小 山 義 孝 YONUHIKO KODA	COLONIA ALTO PIRAMA, DISTRITO DE YALLA VINTA DPTO. DE ITAPI- UA PARAGUAY CASILDE CORRO M84, ENCARNACION, PARAGUAY AY TEL: PIRAPO 3	日本人及び 日本人 100人	なし	1974.1.10.付 解散決定 第127号にてより 仮定組合となる。	なし	なし	組合事務所、運 風、信託所、ア グリカルランド など所有。 共同としてピラ ポ、チンペル、 アムロコ、チン ペル、アムロコ 等7名、職員20 名。	取立、販売、信用、利用、経済、 資金提供の5紙。 各紙相互に連携。 農を主軸

団体名(内訳あり)	代表者名及び所属農団名(在籍)	所在地(県)及び電報の別	会員数	会費の徴情	加入年月日及び取得年月日	前年度の所得及び支出	前年度の所得及び支出の増減	備考
アカカラコ農産協同組合 COOPERATIVA AGRO-INDUSTRIAL "ACACARAYA" LDA		コロンビア(農産物産出地)及び電報の別 "COLONIA ALTOPARANÁ", DISTRITO DE VILLA VINTA DPTO. DE ITAPUA PARAGUAY	10人	同上	1963.4.22 1964.2.26付 農産協定 第175号により 認定組合となる。	なし	協定組合から 了。財源は協定 組合が負担する。	農業、商業、信用、協同組合、 事業
ブラジル人労	会費 1941.1.1~ 1941.12.31	同上 (自衛隊内)		自衛隊員 の女子		無収入あり	公民館利用	下部にも支部及びクラブ日本婦 人協会の員
ブラジル労働	労働 1941.1.1~ 1941.12.31	同上	40名	居住地区 に在る者毎		同上	同上	下部にも支部
イタズバ人労(マイン)	農産物産 (SHIMAZU KYOYA) (1940.4~ 1942.3)	COLONIA YGUAZU KM41, ALTO PARANA PAKAGU- AY TEL. 43 (中央: CAIXA POSTAL 4153 VOZ DO IGUAZU EST. DO PARANA BRASILE)	140名	日本人及び 日本人	1940年 12月2日		会費利用の増進と協力を進めとし 居住地区の増進の準備作業を図り 組合なる協同組合の組織化のため 以てイタズバ人労協会、協同文 化の発展に努めることを目的と する。	
新南シベリア農産協同組合 (PUKAMI AKIARUNO) COOP AGRO-INDUSTRIA- L CANADENSIA TAKURHI. N YOPOJOKA LTD	農産物産 (1940.10~ 1942.9)	COLONIA YGUAZU KM41 ALTO PARANA PAKAGU AY TEL. 43 (中央: CAIXA POSTAL 4153 VOZ DO IGUAZU EST. DO PARANA BRASILE)	140	農産物産 者に在る者 41人及び 以上の者。	1940年 7月20日 農産協定第175号 により認定組合 となる。		協同組合制度内において組合員の 経済的、社会的向上、利便を目 的とし、ない協同組合のようによ きを計る 協同工場 職員 34名	
フロンティア農産(マイン)	農産物産 (HIROMITSU FUJITO) 農産物産 1940.4.1~ 1941.3.31	THE HERRERO KM9 CU- RUPAVTY, PEDRO JUAN CADALHERO, DPTO AMAM- DAY, RCA DVL PARAGUAY, 配当協同	140名 200 人 1,000	日本人及び その家族	1942年 5月22日 DECKRTO 4/20/194	なし	(1) 協同組合の自主的増進 (2) 居住協会の発展 (3) 子弟教育、スポーツの振興 (4) 現協同組合との協同組合を めぐることを目的とする。	

団体名、内閣名 (日本署名、内閣名)	代表者名、住所 及所属、任期	通称名(事務所別)及び電話	会員の資格	会員数	法人格取得の申請 及び取得年月日	関係機関 名称及び住所	関係機関 名称、住所 及び電話番号	目的(内閣目的、内閣の設置目的、 その他)及び、内閣の目的、 その他(目的、内閣の設置目的、 その他)
ボリビア日本協会 ASOCIACION BOLIVIANO JAPONESA DE OKINAWA	佐藤 清 TATSUNEKI KIYUO (住所・籍地不明) 1981年1月— 1982年12月 (22名)	CASILLA 4682 SANTA CRUZ BOLIVIA	日本人又は 法人(国、 人、法人、 協賛の社 会、協賛の 会、協賛の 組織等)に 1) 正会員 協賛者及び 協賛者の 2) 名誉 員 3) 賛助員	212名 (正会員)	法人格取得申請 中	なし	職員：事務 職員2名 施設：公民館 事務所	目的：日本人組の福利 文化の 促進及び相互親善の増進 等 その他 設立1979.1.1

Ⅷ. サント・ドミンゴ支部

団体名、内訳名 (日本名称、内訳名)	代表者及び役員 氏名、任期	通称先(事務所、事務所 所在地)及び電話	会員の国籍	加入の年月日 及び出資の月日	関係の機関 の名称及び 所在地	新設の経緯 目的、内 容、経過等	備 考
FEDEJAPONICA FEDERACION DE ASOCIACIONES DE LOS INMIGRANTES JAPONESSES EN LA REPUBLICA DOMINICANA	会 長 丸 山 一 雄 1944~1945	APARTADO 2 ZONA 2 SANTO DOMINGO R. D	在米日本人 及び日本人 移民子女 も	なし	1944年日本 人協会 「 報」 毎月発行 150部発行	新設の経緯 目的、内 容、経過等	1944年9月1日設立 戦況の悪化及び現地の上昇等必 ずと共に併せて当地の利益を期し 本郷を創立する

